

2022 年度 事業報告書

自 2022 年 4 月 1 日
至 2023 年 3 月 31 日

東京都中央区築地 3 丁目 11 番 6 号
(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

I. 会員登録状況 (各年度 3 月 31 日締め 最終数)

1. ライセンス会員数¥

		2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2022 年度計画	前年同月比	達成率
会員数	競技会員	14,019	12,503	13,449	13,783	13,500	102.5%	102.1%
	エンジョイ会員	2,398	1,491	1,860	2,175	2,000	117.0%	108.8%

2. 各種目のライセンス発行枚数

1) ロードレース **5,185 枚** (昨年 5,191 枚) 前年対比 **100%**

種目	区分	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	前年比
ロードレース	国際	831	830	782	816	839	103%
	国内	3,301	3,236	2,904	3,128	3,059	98%
	フレッシュマン	1,238	1,172	1,015	1,187	1,239	104%
	ジュニア	61	64	57	60	48	80%
	計	5,431	5,304	4,758	5,191	5,185	100%

2) モトクロス **1,502 枚** (昨年 1,429 枚) 前年対比 **105%**

種目	区分	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	前年比
モトクロス	国際 A 級	137	139	137	151	153	101%
	国際 B 級	298	291	244	250	256	102%
	国内 A 級	210	201	173	187	209	112%
	国内 B 級	514	479	446	507	535	106%
	ジュニア	325	272	253	268	265	99%
	PC	65	56	56	66	84	127%
	計	1,549	1,438	1,309	1,429	1,502	105%

3) トライアル **1,429 枚** (昨年 1,369 枚) 前年対比 **104%**

種目	区分	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	前年比
トライアル	国際 A 級	145	145	135	146	152	104%
	国際 B 級	363	382	336	353	374	106%
	国内 A 級	278	287	266	256	253	99%
	国内 B 級	633	614	537	602	641	106%
	ジュニア	14	9	11	12	9	75%
	計	1,433	1,437	1,285	1,369	1,429	104%

4) スノーモビル **106 枚** (前年 90 枚) 前年対比 **118%**

種目	区分	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	前年比
スノーモビル	A 級	56	45	20	41	46	112%
	B 級	56	51	36	40	49	123%
	ジュニア	17	14	11	9	11	122%
	計	129	110	67	90	106	118%

5) スーパーモト **295 枚** (前年 298 枚) 前年対比 **99%**

種目	区分	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	前年比
スーパーモト	A 級	182	196	173	193	183	95%
	B 級	131	113	96	105	112	107%
	計	313	309	269	298	295	99%

6) インデューロ **595 枚** (前年 596 枚) 前年対比 **100%** (2018 年度より 4 クラス制)

種目	区分	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	前年比
インデューロ	国際 A 級	53	59	65	71	78	110%
	国際 B 級	101	100	91	92	100	109%
	国内 A 級	50	51	54	61	68	111%
	国内 B 級	322	340	319	372	349	94%
	計	526	550	529	596	595	100%

7) ピットクルー **7,364 枚** (前年 7,180 枚) 前年対比 **103%**

種目	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	前年比
ピットクルー	7,927	7,553	6,669	7,180	7,364	103%

8) 競技役員 **3,981 枚** (前年 3,898 枚) 前年対比 **102%**

種目	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	前年比
役員・講師	4,282	4,238	3,861	3,898	3,981	102%

9) エンジョイ **2,175 枚** (前年 1,860 枚) 前年対比 **117%**

種目	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	前年比
エンジョイ	2,756	2,398	1,491	1,860	2,175	117%

3. 賛助会員

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	前年比
法人会員	60 件	53 件	56 件	52 件	93%

4. 年間プレス登録者

	ランク	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	前年比
プレス	A	81	83	75	56	75%
	B	19	18	18	28	156%
	合計	100	101	93	84	90%

Ⅱ. 新型コロナウイルス感染症への対応

1. 啓蒙/通達

●主催者向け (2022 年) (MFJ ホームページにて公示)

- 2022 年 1 月 新型コロナウイルス感染防止対策に係わるお願い
- 2022 年 1 月 2022 年地方選手権競技会登録手続きについて
- 2022 年 9 月 新型コロナウイルス感染防止対策に係わるお願い

●選手・エントラント・観客向け

- 2022 年 2 月 感染防止に関する参加時の遵守事項
- 2022 年 9 月 感染防止に関する参加時の遵守事項

2. 感染防止対策

国の緩和傾向から開催地域の自治体のガイドラインを優先

1) 開催時ガイドライン

昨年公示した MFJ の大会開催時のガイドラインを継続

2) 大会時対応

- ・ 事前体調申告、ゲートでの検温、マスク着用は基本継続
- ・ パドックパス販売、ステージイベント、表彰時プレゼンターの登壇などはシーズン後半から徐々に再開

3. 委員会

会議は基本的に対面/リモート混成で開催

4. 事務局業務体制

7月よりテレワークシフト制から基本的に出社とした。

Ⅲ. 今期重点施策

1. 地区組織の変更

MFJ 組織改革に伴い、2021 年 4 月 1 日より、加盟団体事務局との関係を発展的に解消し、MFJ 本部内に「広域事務局」を新たに立ち上げ、外部業務委託 3 名と日本二輪車普及安全協会からの出向者 1 名、本部担当 3 名で対応。（出向職員の今後の動向を考慮し、専属担当者として育成すべく、業務経験者 1 名を増員）従前の業務内容に対し、約半数の人員削減となった上に、初めての試みと経験不足により、これまで加盟団体事務局が行ってきた通りの対応は未だ出来ていない。今年 1 年間を通じて得た知識・経験・人脈を来年の活動に反映させ、より一層の地方活性化活動に尽力する。

■管理体制

- ・ 責任者 隠岐直広 MFJ 事務局長
- ・ 本部担当者 寺牛 英和 スポーツ部地域組織管理課 課長
佐野 克由 スポーツ部地域組織管理課 課長
中原 洋 スポーツ部地域振興管理課（6 月より入社）
- ・ エリア担当者

エリア	担当者	
北海道・東北	山田 淳二	北海道トライアル部会長
関東・九州	坂本 浩之	日本二輪車普及安全協会出向
中部・近畿	小谷 徹	選手会長・近畿トライアル副部会長
中国・四国	池尻 和彦	モトクロス副委員長

■活動内容

2 月～ 4 月	加盟団体保管機材の新保管倉庫調整・契約・移動
2 月～ 5 月	地区専門部会振込口座の新規設立要請 部会宛活動支援金の振り込み
通年	エントリー受付業務の指示的サポート 希望ゼッケン受付ならびに指南
通年	シリーズランキング集計管理、WEB 公示 選手ならびに主催者・競技役員からの苦情・問い合わせ対応
通年	地方選手権への現地出張 リザルト入手、MFJ 競技会 WEB 申請、報告等の問い合わせに対する主催者への指導
2 月～11 月	競技会の日程・会場変更手続きフォロー（WEB・SNS での告知：主催者支援）コロナ禍により頻発に発生
9 月	モトクロス全国大会（地方選全国 No.1 決定戦）主催 いなほモータースポーツランド ※台風の影響により中止
10 月～12 月	地方選シリーズランキング集計、年間表彰者への賞典製作・発送 ※最終戦でのシリーズランキング表彰サポート（写真）
10 月～12 月	地区専門部会会議の日程・会場調整、開催案内発送・準備作業 会議進行、議事録作成
11 月～12 月	シリーズランキング承認、地方選特別規則、エントリーフォーム製作 来期情報（地方カレンダー）の WEB 公示
11 月	トライアル GC 大会開催サポート
10 月～12 月	地方選シリーズランキング表彰式で写真を撮影し、WEB にて紹介
12 月～2 月	2023 年度 MFJ 公認承認地方選手権シリーズ開催クラス設定・登録
12 月～1 月	2023 年度全国競技機材配置（倉庫・レンタル AED 契約締結）
2 月～5 月	2023 年度全国部会支援金（部会宛活動支援金の振り込み）
3 月	広域業務委託業者との契約更新（株）小谷与商店

■支援体制

これまで各地区・種目ごとに異なっていた部会・主催者・選手への支援を全国一律にすべく、着手。

◎地方選手権シリーズ主催者への支援

地方選手権 1 大会あたりの申請料（TR：17000 円、MX.ED：23000 円）の実質無償化。

◎地区専門部会（トライアル部会・モトクロス部会・エンデューロ部会）への支援

→部会活動費として、地方選手権 1 大会あたり、20,000 円を支払い。

◎地方選出場選手への支援

→公認クラスシリーズチャンピオンへメダル贈呈、公認クラスシリーズランキング 1 位～6 位までの選手へ認定証を授与。

→承認クラスシリーズランキング 1 位～3 位の選手へ認定証を授与。

※いずれも、成立したシリーズ・クラスを対象とする。

2022 年度 公認承認クラスの章典設定 対象者合計 7 1 1 名を設定、予算化

◎8 地区に AED（全 12 基）を増設した。

■今後の課題

- * 地区ごと、種目ごとの対応の全国統一促進
- * 部会活動の活性化、部会員、主催者とのコミュニケーション強化
- * 地方選運営体制の見直し提案 → MX 委員会との連携・地方活性化の為の新ビジョンの策定
- * 新規競技者獲得の施策 → ライセンス講習会のオンライン化（JKA 補助金にて本年度製作）
- * 3 年目を迎えるタイミングを目途に、広域事務局の組織体系と業務内容の見直しを行う。

2. シリーズ管理組織

全日本モトクロス選手権シリーズ、全日本トライアル選手権シリーズのシリーズ管理を『株式会社モトスポーツプロモーション』に業務委託継続

●MSP への主な業務委託内容

- ① 全日本 MX/TR の全戦エントリー窓口（WEB エントリー）リスト作成/入金処理/問い合わせ窓口
- ② 全日本 MX/TR のファンサイト製作/運営 SNS 発信含む
- ④ 全日本モトクロス自動計測/ライブリザルト（今期から施設管理に移行）
- ③ 全日本 MX の E-チケット販売（普及対策部会施策にて今期名阪大会よりメーカー販社系列販売店での取り扱い開始）
- ④ 全大会へ事務局員派遣（選手受付補助・機材管理・パドック配置補助、スポンサー露出等）
- ⑤ MFJ 主催大会の事務局業務全般
（開催施設との交渉、競技運営組織構築、備品・宿泊・飲食手配/後援依頼、行政届け出等）
- ⑥ 全日本 MX 派遣要員の管理
【派遣要員】 レースディレクター/レースアドバイザー/テクニカルオフィサー/コースビルダー/解説者

3. 露出の拡大

1) MFJ オフィシャルホームページ

ホームページを中心に SNS を活用した情報発信に努めた

2) 動画配信の強化

●全日本ロードレース/モトクロス（全大会 Youtube ライブ動画配信）GMP 社制作

- ・ 現地スタジオで年間統一 MC/解説者を付け番組内容を向上
- ・ グリッド紹介/レース直後のインタビューなどでライダー露出を高めた。
- ・ 海外向けの英語版副チャンネルを設けた。

●チャンネル登録者 51,900 名		1 大会平均視聴回数	
		総数	1 大会平均
全日本ロードレース	8 大会	1,653,809	206,726
全日本モトクロス	7 大会	404,925	57,846

●全日本トライアル

- ・ 全大会 Youtube で部分的に配信を行った 自然山通信制作
8 大会 195,516 回視聴 1 大会平均 24,440 回

●海外動画配信会社への映像提供

アメリカのモータースポーツ動画配信会社 AEMG に全日本モトクロス/ロードレースの素材を提供

3) 会場における観客用情報配信アプリ

- ・ 全日本ロードレース全戦観客用情報配信アプリ「Grooview」を実施
- ・ 複数チャンネルを選択可能（レースライブ動画/スポンサー映像/主催者 PR/ライブリザルト等）
- ・ タイムスケジュール/場内マップ/選手プロフィールなどテキストデータを視聴可能。

ユニークユーザー数 7 大会合計 9,503 平均 1,358

※モトクロス会場では電波環境が悪く、今期は休止。

4. カーボンニュートラルに向けた対策

1) 2023 年全日本 JSB1000 クラスへのカーボンニュートラル燃料の導入

- ・ 世界のモビリティ産業はカーボンニュートラルに向けて動き出しており、昨年 10 月よりメーカーと議論を開始し本年 2 月に本件に特化した 4 メーカーで構成する会議体 MSMA-J を設立
- ・ 燃料の候補の中から GTA で導入を予定している 100%非化石由来のレーシング燃料（ハルターマンカーレス社製・ブランド名 ETS）を選択し、燃料を取り寄せ 7 月～8 月に 4 メーカーでベンチテストを実施。使用に問題ないことが確認された。
- ・ 複雑な製造過程のレーシング燃料で価格が高価でありエンタラント負担を減じなければ導入が困難なことから 4 メーカー／タイヤメーカー等ステークホルダーに分担を求め、エンタラントの購入価格を抑える目途がたった。
- ・ ロードレース委員会にて 2023 年シーズンの全日本選手権 JSB1000 クラスに導入することを決定。エンタラントに通知するとともに 11 月の最終戦 MFJ グランプリにてメディア発表を行った。
- ・ 2023 年 1 月～2 月に MSMA-J、開催施設との会合等実施し運営方法について決定
- ・ 2023 年 3 月東京モーターサイクルショーのステージにて CN 関係取り組み発表会を実施

2) 全日本トライアルへの電動車両正式参加

- ・ トライアル委員会にて 2023 年全日本選手権対象種目に限り正式参加を認めることになった。
- ・ FIM 規則をベースとした技術規則を制定

IV. モーターサイクルスポーツ事業

1. MFJ 公認・承認競技会（講習会含む）の都道府県別申請状況

競技会申請数は公認競技会 377 大会（前年比 106%）承認競技会 67 大会（前年比 140%）合計 444 大会であった。

地区	公認競技会									承認競技会							合計 申請数
	RD	MX	TR	SN	SM	ED	講習会	走行会	公認計	RD	MB	MX	TR	ED	行事	承認計	
北海道	4	7	8	2	0	6	12	0	39	0	1	0	0	1	0	2	41
東北	6	8	10	1	2	1	9	1	38	0	3	0	1	0	0	4	42
関東	11	11	17	1	1	4	36	2	83	7	7	5	4	3	2	28	111
中部	9	6	14	0	1	7	9	5	51	7	4	0	6	1	0	18	69
近畿	0	8	10	0	1	1	16	0	36	0	0	0	2	0	0	2	38
中国	8	8	12	0	0	4	13	1	46	0	0	0	2	1	0	3	49
四国	0	7	7	0	0	0	8	0	22	0	0	0	2	0	0	2	24
九州	8	8	9	0	1	6	29	1	62	7	0	0	1	0	0	8	70
2022年	46	63	87	4	6	29	132	10	377	21	15	5	18	6	2	67	444
2021年	46	63	69	5	6	26	134	7	356	24	11	0	8	4	1	48	404
前年比	100%	100%	126%	80%	100%	112%	99%	143%	106%	88%	136%	—	225%	150%	200%	140%	110%

2.競技会開催状況

1) ロードレース

(1) 世界選手権/特別競技会 (世界選手権はスポーツ庁・観光庁後援事業)

格式	開催日	大会名	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	前回比
権	8 月 5 日～7 日	鈴鹿 8 時間耐久	111,000	109,000	中止	中止	44,000	40%
	9 月 23 日～25 日	MotoGP 日本グランプリ	96,425	88,597	中止	中止	57,482	65%
アジア選手権	8 月 12 日～14 日	日本大会 SUGO	21,000	14,900	中止	中止	8,000	54%

(2) 全日本選手権

文部科学大臣杯は中須賀克行選手(JSB1000 ャンク)が獲得。全戦スポーツ庁・観光庁後援事業・全戦FIM公認国際競技会

日程		開催日	観客数	総参加	全日本				MFJ ヶッ°	承認 併催
					JSB	ST1000	ST600	GP3	JP250	
第 1 戦	もてぎ	4 月 2 日～3 日	5,500	151	21	35	42	26	27	
		2021 年	13,000	144	19	37	32	27	29	
第 2 戦	鈴鹿 2 & 4	4 月 23～24 日	16,000	60	60					
		2021 年	16,500	67	67					
第 3 戦	AP2 & 4	5 月 21～22 日	8,500	29	29					
		2021 年開催なし								
第 4 戦	SUGO	6 月 4 日～5 日	8,000	141	20	30	37	26	28	
		2021 年	6,100	135	14	32	31	29	29	
第 5 戦	筑波	6 月 26 日	3,000	100				35	27	38
		2021 年	3,000	123		26	32	33	32	
第 6 戦	AP	8 月 27～28 日	5,700	130	22	27	39	23	19	
		2021 年	7,200	123	20	31	35	21	16	
第 7 戦	岡山	9 月 17～18 日	5,050	152	17	30	41	24	28	12
		2021 年	4,700	150	15	32	36	24	28	15
第 8 戦	MFJGP 鈴鹿	11 月 5 日～6 日	9,400	139	24	24	27	26	38	
		2021 年	10,500	181	30	41	40	39	31	
		2022 年(合計)	61,150	902	193	146	186	160	167	50
		(平均)	7,644	113	28	37	47	32	33	25
		2021 年 (平均)	8,714	132	28	33	34	29	28	15
		前年比	88%	86%	100%	110%	135%	111%	121%	167%

(3) 地方選手権 (ナショナル・インター)・承認ロード競技会

地区	地方選手権					承認競技会(地方選併催含む)				
	申請数	開催数	参加台数			申請数	開催数	参加人数		
			総台数	平均	前年比			総人数	平均	前年比
十勝	4	4	113	28	104%	4	4	75	19	94%
SUGO	4	4	156	39	100%	4	4	191	48	73%
筑波	4	4	230	58	100%	10	10	1310	131	99%
もてぎ	4	4	344	86	108%	9	9	1084	120	103%
鈴鹿	6	6	836	139	102%	16	14	1183	85	77%
岡山	7	6	273	46	98%	11	10	350	35	88%
九州	6	6	144	24	120%	15	13	623	48	103%
2022合計	35	34	2,096	62		69	64	4,816	75	
2021合計	37	36	2178	61		68	66	5245	79	
前年比	95%	94%	96%	101%		101%	97%	92%	95%	

2) モトクロス

(1) 全日本選手権 (MFJGP はスポーツ庁・観光庁後援事業) 大同工業のシリーズ冠協賛をいただいた。

日程		観客数	総参加	国際 A 級		IB	LMX	併催			
				IA-1	IA-2	Open		CX	J 85	J 65	2 st
1	HSR 九州	4 月 9・10 日	1,823	196	24	47	52	28	18	27	
		2021 年	2,531	193	24	43	66	29	9	22	
2	関東	5 月 14-15 日	4,897	244	25	45	52	44	15	44	19
		2021 年	4,000	243	24	41	60	33	18	44	23
3	SUGO	7 月 16・17 日	3,000	236	27	45	51	31	9	33	40
		2021 年	3,500	227	27	46	55	28	9	35	27
4	名阪	9 月 10-11 日	4,600	274	25	47	55	31	23	38	55
		2021 年	開催なし								
5	HSR 九州	10 月 8・9 日	1,520	186	25	45	45	20	25	26	
		2021 年	2,100	173	22	44	50	23	12	22	
6	関東	10 月 29・30 日	6,360	236	27	46	53	27	23	38	22
		2021 年									
7	MFJGP SUGO	11 月 12・13 日	3,900	217	29	42	61	26	23	36	
		2021 年	4,100	230	29	44	67	29	17	44	
	中国	2021 年	2,185	225	27	44	66	31	21	36	
	合計		26,100	1,589	182	317	369	207	136	242	95
	平均		3,729	227	26	45	53	30	19	35	47.5
	前年平均		3,069	215	26	44	61	29	14	34	23
	前年比		121%	105%	102%	104%	87%	103%	136%	102%	83%

(2) モトクロス全国大会 (スポーツ庁・観光庁後援事業)

ジム・ノビス・国内 A 級の全国選抜大会を 9 月 25 日に三重県・いなべモータースポーツランドで開催を予定したが台風 15 号の接近により中止となった。

(3) 地方競技会 (ライセンス数は 3 月 31 日締め 最終数)

地区	年度	2022 地方選手権モトクロス				
		ライセンス	申請数	開催数	総参加人数	平均人数
北海道	2022 年	186	7	7	409	58
	2021 年	192	6	6	419	70
	前年比	97%	117%	117%	98%	83%
東北	2022 年	107	7	6	227	38
	2021 年	99	7	7	288	41
	前年比	108%	100%	86%	79%	93%
関東	2022 年	425	9	9	837	93
	2021 年	403	9	9	745	83
	前年比	105%	100%	100%	112%	112%
中部	2022 年	250	6	6	443	74
	2021 年	255	6	6	407	68
	前年比	98%	100%	100%	109%	109%
近畿	2022 年	160	7	7	315	48
	2021 年	166	7	3	144	48
	前年比	96%	100%	233%	219%	100%
中国	2022 年	129	8	6	227	38
	2021 年	105	8	6	249	42
	前年比	123%	100%	100%	91%	90%
四国	2022 年	51	7	6	161	27
	2021 年	44	7	3	111	28

	前年比	116%	100%	200%	145%	96%
九州	2022 年	194	6	6	306	51
	2021 年	165	6	6	235	39
	前年比	118%	100%	100%	130%	131%
全体	2022 年	1,502	57	53	2,925	55
	2021 年	1,429	56	46	2,598	56
	前年比	105%	102%	115%	113%	98%

※参加数は併催承認クラスを除く地方選手権クラスのみ

3) トライアル

(1) 世界選手権

(スポーツ庁・観光庁後援事業)

5月21日/22日に世界選手権トライアル第1戦日本グランプリをモビリティリゾートもてぎにて開催予定であったが
コロナ禍による海外選手の渡航制限並びに物流の問題から中止となった。

(2) 全日本選手権

	会場	日程	観客数	総参加	IA-S	IA	IB	レディース	併催
1	キョウセイライバーランド	4月3日	900	133	19	31	71	12	
	"	2021①	800	109	18	30	51	10	
		2021②	1,500	132	18	33	71	10	
2	矢谷溪谷トライアル場	4月24日	1,200	90	19	25	40	6	
	矢岳高原トライアル場	2021 年	620	85	16	21	42	6	
3	モビリティリゾートもてぎ	6月5日	2,800	131	19	37	66	8	1
	"	2021 年	3,300	129	18	33	68	8	2
4	わっさむサーキット	7月17日	716	91	18	21	42	6	4
	"	2021 年	中止						
5	泉南ロングパーク	8月20～21日	8,000	18					
		2021 年	中止						
6	灰塚ダム TR パーク	9月4日	1,500	133	17	37	66	11	2
	原滝山	2021 年	中止						
7	湯浅トライアルパーク	10月9日	800	118	18	31	59	8	2
	"	2021 年	中止						
8	スポーツランド SUGO	10月23日	1,200	110	16	32	55	7	
	"	2021 年	1,100	114	18	27	62	7	
合計			17,116	714	110	182	344	51	9
平均			2,140	102	18	30	57	9	2
前年平均			1,464	114	18	29	59	8	
前年比			146%	90%	104%	105%	98%	104%	100%

(3) トライアルグランドチャンピオン大会

地方選手権国内日本一決定戦の全国大会を11月13日に鳥取県 HIRO スポーツパークにて開催。

参加：100名（GCクラス79名、レディース6名、Over50クラス6名 IB地区対抗6チーム）

(4) 地方選手権（ライセンス数は3月31日締め 最終数）

地区	年度	2022 年地方選手権トライアル				
		ライセンス	申請数	開催数	総参加	平均台数
北海道	2022 年	43	7	7	179	26
	2021 年	39	6	4	88	22
	前年比	110%	117%	175%	203%	116%
東北	2022 年	125	9	9	637	71
	2021 年	114	7	7	411	59

	前年比	110%	129%	129%	155%	120%
関東	2022 年	396	9	8	800	100
	2021 年	393	8	7	727	104
	前年比	101%	113%	114%	110%	96%
中部	2022 年	282	9	9	925	103
	2021 年	262	9	8	697	87
	前年比	108%	100%	113%	133%	118%
近畿	2022 年	222	9	9	590	66
	2021 年	208	8	8	405	58
	前年比	107%	113%	113%	146%	113%
中国	2022 年	145	10	9	529	59
	2021 年	140	10	9	343	58
	前年比	104%	100%	100%	154%	101%
四国	2022 年	63	7	7	210	30
	2021 年	56	6	4	116	29
	前年比	113%	117%	175%	181%	103%
九州	2022 年	153	8	7	439	63
	2021 年	157	8	7	443	63
	前年比	97%	100%	100%	99%	100%
全体	2022 年	1,429	68	65	4,309	66
	2021 年	1,369	62	54	3,230	60
	前年比	104%	110%	120%	133%	111%

4) スノーモビル

2022 シリーズは新型コロナウイルス感染の再拡大に伴い全戦中止となった。

5) スーパーモト

(1) 全日本選手権

日程			観客数	総参加	S1 PRO	S 1 OPEN	S 2	併催
第 1 戦	茂原ツインサーキット	4 月 16～17 日	600	74	14	20	11	29
		4/3～4 日	400	53	17	13	10	13
第 2 戦	HSR 九州	5 月 14～15 日	345	55	16	12	13	14
		2021 年	375	51	15	15	12	9
第 3 戦	エビスサーキット	6 月 12 日	300	67	13	19	9	26
		2021	中止					
第 4 戦	美浜サーキット	8 月 20～21 日	400	85	15	24	13	33
		2021 年	400	85	19	27	16	23
第 5 戦	名阪スポーツランド	9 月 17～18 日	300	88	15	23	10	40
		2021 年	中止					
第 6 戦	スポーツランド SUGO	10 月 15～16 日	1500	73	17	17	9	30
		2021 年	700	75	19	20	11	25
	世羅グリーンパーク弘楽園	2021 年（2022 は無し）	200	60	16	21	12	11
合計			3,445	442	90	115	65	172
1 大会平均			574	74	15	19	11	29
前年平均			415	65	17	19	12	16
前年対比			138%	113%	88%	101%	90%	179%

6) インデューロ

日程			総参加	全日本					承認
				インターナショナル		ナショナル			
						A	B	NA	
第 1 戦 中国	テージასランチ（広島）	3 月 20 日	130	29	34	21	43	3	
		2021 年	137	26	35	18	44	2	12
第 2 戦 東北	スポーツランド SUGO(宮城)	4 月 16～17 日	129	23	28	22	44	4	8
		2021 年	128	27	27	13	48	3	10
第 3 戦 中部	コスモスポーツランド（富山）	6 月 18～19 日	89	26	17	16	27	3	
	いなべ（三重）	2021 年	119	24	29	20	43	3	
第 4 戦 九州	御所オートランド（熊本）	7 月 30～31 日	79	21	17	14	21	2	4
		2021 は開催なし							
第 5 戦 北海道	ビッグベア・ルスツ（北海道）	9 月 17～18 日	83	17	22	10	29	2	3
		9 月 18～19 日	121	19	28	17	43	1	13
		合計	510	116	118	83	164	14	15
		1 大会平均	102	23.2	23.6	16.6	32.8	2.8	5
		前年平均	126	24	30	17	45	2	12
		前年対比	81%	97%	79%	98%	74%	124%	43%

3. 代表選手派遣事業

1) モトクロス・オブ・ナーションズ（国別対抗世界選手権）

開催日 9月25日～26日 開催国：USA 開催場所：ミシガン州レッドバッド

日本代表選手 MXGPクラス 大倉 由揮 MX2クラス 下田 丈 Openクラス 鳥谷部 晃太

成績 34カ国中24位

2) トライアル・デ・ナショナル（国別対抗世界選手権） 派遣中止

3) ISDE(インデューロ（国際6日間インデューロ） 派遣中止

4. 2022MFJ Moto Awards(全日本選手権ランキング表彰式典)

全日本ランキング表彰式典を2022年12月18日（日）にオンライン形式にて開催。

5. 2022年MFJモーターサイクルスポーツ殿堂

殿堂評議会にて本年は功労者部門を対象とすることとなり、以下の方を選出し授与式を開催した。

授与式の模様は映像収録し、Moto Awards 動画配信で放映

顕彰者： 藤井 瑋美 氏（故人）

顕彰式： 開催日：11月25日（金） 開催場所： 大手町、KKRホテル

6. 文科省・スポーツ庁令和4年度スポーツ功労者顕彰

標記顕彰に過去のレース実績とMFJ理事としての普及振興活動が評価され平忠彦氏が顕彰されることとなった。

顕彰者： 平 忠彦 氏

実績 1983年～1985年全日本GP500クラス3連覇 2007年MFJ理事就任

2017年～2018年 MFJ東北復興応援ツーリングにて復興応援大使として現地で活動

顕彰式： 開催日：2023年3月2日（木） 開催場所：東京・ホテルニューオータニ

V. 補助金事業

1. （公財）JKAオートレース

ライセンス取得講習会 WEB 交付申請額：4,356,000円

交付決定額：4,356,000円

VI. モーターサイクルスポーツの普及振興

1. 普及強化事業

1) MFJロードレースアカデミー in MOTEGI 2022 (17 期目)

ロードレースにおける年少者育成を目的とし以下のように開催した。

主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・モビリティリゾートもてぎ。期間：2022 年 4 月～8 月 年間 10 日間

校長：坂田和人 講師：小林龍太 小山知良

スポットインストラクター：長島哲太選手 小椋藍選手 山中琉聖選手 他トップライダー起用

年間参加 (18 歳以下) 使用車両：CBR250R/CBR150R

受講者：150 cc 7 名 250 cc：1 名

【新クラス設定】若手ライダーの練習の場を提供する目的

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| ・R クラス (アカデミー卒業生対象) 本コース使用 | 延べ 7 名参加 |
| ・S クラス (アカデミー卒業生対象) 本コース以外で自主練習 | 延べ 7 名参加 |
| ・E クラス (8～11 歳のポケバイレース経験者) 体験スクール | 延べ 13 名参加 |
| ・P クラス (8～11 歳 ポケバイ車両) 体験スクール | 延べ 11 名参加 |
| ・1 Day クラス 12 歳以上 | 延べ 13 名参加 |

※ポケバイ・ミニバイクで走行しながらアカデミー体験をして頂く試みとして P クラス (ポケバイ車両クラス) を開設

2) MFJ 親子バイク祭り

小学生以下を対象としたバイク乗車体験のスクール、ポケバイ・ミニバイクレースとの連携を目的に以下イベントを開催予定であったがいずれもコロナ禍により中止となった。

3) にっぽん応援ツーリング

(一社)日本ライダーズフォーラムと協力し被災地支援並びに疲弊した観光産業応援の社会貢献活動として以下を開催

イベント名称： にっぽん応援ツーリング

主催： (一社)日本ライダーズフォーラム/(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

公認： 国際モーターサイクリズム連盟 (FIM)

開催期間： 2022 年 4 月 29 日～10 月 31 日

内容： 日本本土 4 極,エリア (北海道・本州・四国・九州) 4 極,各地域応援スポット
各観光応援スポットに訪れた際の獲得ポイントを設け SNS で登録するゲーム性
のあるツーリングイベント

参加： 総参加人数:667 名 (男性 598 名:90%、女性 69 名: 10%)

4) モトライダースフェスタ 2022 in HAKONE

開催日：2022 年 9 月 10 日～11 日

開催場所：アネスト岩田ターンバイク/アネスト岩田スカイラウンジ (大観峰展望台)

コンテンツ：レース車両展示、試乗会、ターンバイクレース車デモ走行、トークショー等

来場バイク数：2,650 台 来場人数：3,700 名

2. 安全・環境・健康に関する活動

1) ドーピングコントロール

本年は JADA 方針の為、実施せず。

2) サーキットアドバイザーへの補助

各サーキットのスクール・イベント時安全面の指導を行うサーキットアドバイザー制度促進の為、補助を行った。

3) インストラクターセミナー開催

有効期限の切れる方を対象に資格更新の為、少人数で開催

5月28日 受講10名 6月18日 受講7名

4) セーフティオフィサー・レースアドバイザーの派遣

全日本選手権の運営均一化、安全向上を目的に全戦をラウンドする役員を派遣した。

●ロードレース

- ・ セーフティオフィサー2名派遣。競技監督とレースディレクションを構成し、コースの状況、運営について協議し執行
- ・ テクニカルアドバイザー1名派遣。

●モトクロス

- ・ シリーズ管理組織を通じてレースディレクター、レースアドバイザー、テクニカルオフィサー、コースビルダー4名派遣
- ・ レースディレクターは競技監督とレースディレクションを構成し運営を指揮し、全戦統一水準での競技会運営と安全対策に尽力した。

5) メディカル部会活動

- ・ 競技会開催時のコロナ対策や感染後の競技復帰ガイドライン健康申告書等へのアドバイス等を行った。

6) モトクロス安全対策

- ・ モトクロス運営統一の為、作業部会を実施。
- ・ 選手に対する安全意識とマナー向上の指導、サーキットに対するコース安全性のチェックと改善指導、適正な運営に対する助言を主眼とし、レースディレクターら4名を派遣
- ・ 違反行為や事故発生時の検証補助、さらに選手への違反・危険行為防止効果を目的とする動画を撮影し判断材料としている。

7) 観客安全対策

- ・ モトクロス競技安全対策の指針に基づき観客安全対策を各主催者に啓蒙
- ・ インデューロ主催者にコーステープの安価供給継続

8) 安全装備の研究

- ・ ロードレース18歳以下のエアバッグ式プロテクション義務化を実施。義務化拡大について検討
- ・ レーシングスーツのプロテクションは2021年より脊椎／チェストパッドはCE規格義務付けを告知。その他肘膝パッドは2022年規格より公認時にCE規格品であることとした。

9) セーフティ委員会活動

- ・ 重大事故発生時に再発防止対策を検討。今期は調査なし。
- ・ メディカルパスポート提示義務について各専門委員会に提案

10) スポーツ庁からの注意喚起協力依頼

9月に北海道で起こったゴーカート体験走行での重大事故に起因し、同種の体験走行の安全についてスポーツ庁より調査と注意喚起の依頼があり、協力した。

3. 情報発信活動

1) オフィシャルホームページ

- 2022年4月1日より11月までに、2,453,145PV/月平均327,086PV（昨年323,298PV）のアクセスを得て昨年のリニューアル後、アクセスは増加傾向を維持している。
特にアクセス解析では、モバイル端末での閲覧割合は35%アップ、また女性ユーザーの10%アップしている。
- 競技者向けにMFJ公認/承認競技会登録データベースと連動した「MFJイベント検索」サイトを公開した。
- 2022年度より国内競技規則書をWEB化し2023年度も継続更新予定。（2023年度スノーモビル規則を11月に先行公開済み、12月末に全種目更新予定。）
- 地方選手権の情報もMFJ広域事務局にて更新管理を行い、専用ツイッターアカウントにて更新情報等を発信。
- 全日本ロードレース、モトクロス、トライアルオフィシャルファンサイトをモトスポーツプロモーション(MSP)にて運営しMFJWEBサイトともニュース記事の連携を強化した。新たに立ち上げ電子チケット販売をはじめ観戦者向けの情報提供を行った。
- 広告協賛を募り、本サイトと規則書WEBサイトの双方にご協賛各社様のロゴやバナーを掲載を継続。
- SNSによる迅速な情報発信のため、MFJ公式Facebook、Twitterとの自動連携。

- 2) 2022年3月の大阪/東京モーターサイクルショーでMFJブースを設けPR活動を実施した。新型コロナウイルス感染拡大対策として車両展示および映像をメインコンテンツとした。
- 3) 2022レースポスターカレンダーを作成し、開催施設およびモーターサイクルショーや用品量販店様を通じて一般のお客様へ配布した。
- 4) メディア向け情報発信
MFJ登録メディア向け主要競技会の情報を毎月1回メール配信した。
- 5) プロモーション事業
 - (1) 映像製作/露出 (GMP 社)
 - ① 全日本ロードレース・モトクロス全戦を収録しBS12にてダイジェスト放映
(毎月末土曜 21:30~22:00)
 - ② Web 動画配信「moto バトルライブ」にて全日本ロードレース、全日本モトクロス全大会をライブ動画配信 (配信後アーカイブ)
※youtubeのチャンネル登録は5万人を超えた。
 - (2) オフィシャルホームページ等広報 (YUP 社)
 - ① 専用ホームページ Superbike.jp にて事前告知を中心に展開するとともに一般向け並びにプレス向けのメルマガの配信を行った。※3月~11月の訪問者数 **1,316,253** 件 (昨年 1,326,724 件 3月~11月) と横ばい。
 - ② 2022年3月、3年ぶりに開催された東京モーターサイクルショーにて次年度全日本選手権PRの為、モーターサイクルスポーツPRコーナーを設け大画面でのレース映像とレーシングマシン展示
 - (3) ファンクラブの運営 (ライディングハート社)
全日本ロードレース選手権オフィシャルファンクラブ「Superbike Supporters」会員を募集したがコロナ禍により開催数が不透明なことから募集を休止した。
 - (4) MFJ 会員へのメリット供与
 - ・ 協力企業とのアライアンスによる会員メリットの提供
ルートインホテルズ、ZuttoRide、パークアップ(用品通販)、ビッグカメラ

VIII. 国際交流

世界的に海外渡航制限等緩和されてきたことから世界選手権競技会・会議等が再開され、以下のような活動した。

4月30、5月1日	FIMCCR スポーティングスチュワード/競技監督セミナー (講師：オンライン)	会場：鈴鹿サーキット	受講者 22 名
7月16日	FIM 車検長セミナー (オンライン)		受講者：9 名
8月3、4日	FIM 車検長セミナー (実技)	受講者 9 名 会場：鈴鹿サーキット	
8月5-7日	FIM 世界耐久ロードレース	会場：鈴鹿サーキット	
8月13、14日	FIM アジアロードレース選手権	会場：スポーツランド SUGO	全 87 台
9月23~25日	FIM MotoGP 日本グランプリ	会場：モビリティリゾートもてぎ	
12月2日	FIM 総会 (イタリア・リミニ)	事務局員派遣	
12月10、11日	FIM アジア国別対抗ロードレース	フィリピン大会にチームを派遣	

IX. スポーツ安全保険等

1. スポーツ安全協会の『スポーツ安全保険』登録業務並びに競技会での受傷者への手続きを行った。

2022 年度 2022 年 04 月 01 日～2023 年 03 月 31 日現在

VII. スポーツ安全保険									
種目	区分※	事故通知				保険請求			
		A1	C	B	計				
ロードレース	国際		16		16				
	国内		33		33				
	フレッシュマン		8		8				
	ジュニア								
	計		57		57				
モトクロス	国際 A 級		9		9				
	国際 B 級		11		11				
	国内 A 級		5		5				
	国内 B 級		14	1	15				
	ジュニア	4			4				
	P C								
	計	4	39	1	44				
トライアル	国際 A 級		1		1				
	国際 B 級		6		6				
	国内 A 級		2		2				
	国内 B 級		12		12				
	ジュニア								
	計		21		21				
スノーモビル	S A		2		2				
	S B								
	S J								
	計		2		2				
エンデューロ*	国際 A 級		1		1				
	国際 B 級		1		1				
	国内 A 級		3		3				
	国内 B 級		4		4				
	計		9		9				
スーパーモト	A		6		6				
	B		2		2				
	計		8		8				
ビットクレー									
エンジョイ		1	19	1	21				
競技役員									
2022 年度		5	155	2	162				
前年比 (以下四捨五入)		83%	148%	-	146%				
2021 年度		6	105		111				
2020 年度		16	84	1	101				
2019 年度		7	158	1	166				
2018 年度 (参考)		19	170	1	190				
2017 年度 (参考)		16	194	3	213				

※スポーツ安全保険の加入区分 **A1**…中学生以下、**C**…中学卒業以上～64 歳以下、**B**…65 歳以上

*エンデューロの区分について…2017 年度までは国内・国際の 2 クラス編成

2018 年度より国際 A 級、国際 B 級、国内 A 級、国内 B 級の 4 クラス編成

*P(ビットクレー)の件数について…ビット作業中と承認競技中の合算

※2022 年度よりスポーツ安全保険・保険金請求の手続き方法が変更となり、所属団体（MFJ）の照会・押印が不要となったことから「保険請求数」の件数は把握できず。

X. 諸会議の開催（2022 年 4 月～2023 年 03 月）

諸会議					
4 月	19 日	ワンメイクタイヤ入札委員会	11 月	10 日	ロードレース委員会②
5 月				14 日	技術委員会
6 月	9 日	運営財務委員会		16 日	スーパーモト委員会
	16 日	理事会		17 日	トライアル委員会
	20 日	競技用装備部会打合せ		22 日	モトクロス委員会
	29 日	評議員会		24 日	エンデュロ委員会
7 月	4 日	MFJ 普及対策部会	12 月	29 日	モトクロス作業部会
	7 日	モトクロス委員会		9 日	運営財務委員会
	8 日	技術委員会		13 日	RD アカデミー 打合せ
	20 日	ロードレース委員会		16 日	理事会
	22 日	ロードレース委員会	1 月	24 日	MSMA-J 会議
	27 日	スーパーモト委員会 ※都合によりキャンセル		26 日	JSB1000・CN 燃料に関する施設会議
8 月	23 日	スノーモビル委員会	2 月	16 日	ロードレースセミナー
9 月	7 日	殿堂評議会		24 日	ロードレース委員会（PR 関係）
	13 日	事故検証会議		27 日	ワンメイクタイヤ入札委員会
10 月	5 日	MSMA-J 会合	3 月	1 日	モトクロス勉強会（セミナー）
	13 日	ロードレース作業部会		2 日	運営財務委員会
	14 日	中央スポーツ委員会作業部会		7 日	MSMA-J 会議
	18 日	MFJ モーターサイクルスポーツ普及対策部会		9 日	理事会
	20 日	ロードレース作業部会		27 日	評議員会
				28 日	MSMA-J 会議

XI. その他の事業

1. ライセンス取得講習会の WEB 化

- ・ ライセンス講習会をニーズに答えて行う為、E ラーニングで取得希望者が時と場所を選ばずオンデマンドで受講可能なシステムとコンテンツを制作した（2022 年 J K A 補助金事業・2023 年ライセンス申請より適用予定）・

以上

■ 2022 年度事業報告 附属明細書

2022 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2023 年 6 月
一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会